

かこの れきしと けいず (サウルおうと かれの し)

1 か

I 歴代10:1~4 このように、サウルは主に逆らったみずからの不信の罪のために死んだ。主のことばを守らず、そのうえ、讒媒によって荷いを立て、主に尋ねなかった。それで、主は彼を殺し、王位をエッサイの子ダビデに回された。(13~14)

1. アダムから始まった契約はアブラハムまで続きました(I 歴代1:1~42)

- 1) 「女の子孫」という契約をくださいました(創3:15)
- 2) 「箱舟」という契約をくださいました(創6:14)
- 3) 「すべての民族は、あなたによって祝福される」という契約をくださいました(創12:1~3)

2. 部族に対する話があります(I 歴代2:1~9:34)

- 1) 12部族を紹介しています(I 歴代2~8章)
- 2) 幕屋を大事に思いました(I 歴代9:14~33)
- 3) レビ部族は幕屋に仕えることを担当しました(I 歴代9:34)

3. サウル王と彼の死がありました

- 1) ベニヤミン部族のサウルが王になりました(I 歴代9:38~44)
- 2) 神様が与えられた使命を逃したサウルは殺されました(I 歴代10:1~14)

- 🌿 タイトル: _____
- 🌿 せいしよかしよ: _____
- 🌿 メッセージ: _____

 いのりの かだい
(じっせんする こと):



かこの れきしと おうたち (あぶら そそがれた ダビデ)

たいいれきだい I 歴代11:1~12:40 ぜん 全イスラエルは、ヘブロンへぶろんのダビデのもとに集まって来て言った。「ご覧のとおり、私たちはあなたの膏肉こうにくです。これまで、サウルが王であった時ときでさえ、イスラエルを動かしていたのは、あなたでした。しかもあなたの神、主は、あなたに言われました。『あなたがわたしの民イスラエルを救し、あなたがわたしの民イスラエルの首領しゅりやうとなる。』(11:1~2) ダビデがキシユの子サウルのゆえに、まだツィケラグに引きこもっていたとき、ツィケラグの彼のもとに来た父ちちは次のとおりである。彼らは勇士たちの軍で、戦いの加勢かせいをした父であり、弓を持った者、石投げ、弓矢に、右羊も左羊も使う者で、サウルの同族、ベニヤミンの出であった。(12:1~2)

2 か

1. ダビデは王になりました

- 1) 主しゅはダビデがイスラエルを救し、君主くんしゅ*となると言われました (I 歴代11:2)
- 2) ダビデはサムエルが伝えたみことばとおりに王おうになりました (I 歴代11:3)
- 3) ダビデはシオンの要害ようがいを攻め取って住まいとし、ダビデの町と呼ばれました (I 歴代11:7)

2. ダビデを助けた人たちがいました

- 1) 多くの勇士ゆうしがダビデを助けました (I 歴代11:10~47)
- 2) ツィケラグにダビデが引きこもっていたときはベニヤミン部族ぶぞくの勇士ゆうしが彼を助けました (I 歴代12:1~7)
- 3) ガド部族ぶぞくでは大盾おおだてと槍やりを使う勇士ゆうしがダビデを助けました (I 歴代12:8~15)
- 4) 要害ようがいの町まちを持っているベニヤミン部族ぶぞくとユダ部族ぶぞくの人々ひとびとがダビデを助けました (I 歴代12:16~18)
- 5) ペリシテの攻撃こうげきから逃げてツィケラグに行くときは、マナセの部族ぶぞくの人々ひとがダビデを助けました (I 歴代12:19~22)
- 6) ヘブロンでも戦争せんそうに勇敢ゆうかんな指揮官しきかんたちもダビデを助けました (I 歴代12:23~40)

タイトル:

せいしよかしよ:

メッセージ:



いのりの かだい
(じっせんする こと):

かこの れきしと おうたち (ダビデおうの とうち)

I 歴代13:1~29:21 ここに、ダビデは半人隊の長、百人隊の長たち、すべての隊長と各議し、イスラエルの全集団に向かって、言った。「もしも、このことが、あなたがたによく、私たちの神、主の御旨から出たことなら、イスラエル全土に残っている私たちの同胞にいつせいに使者を送ろう。彼らのうちには、放牧地のある町々の祭司やレビ人もいる。彼らを私たちのもとに集めよう。(13:1~2) そして、ダビデは全集団に向かって、「あなたがたの神、主をほめたたえなさい」と言った。すると全集団は、父祖の神、主をほめたたえ、ひざまずいて、主と主とを礼拝した。その日の翌日、彼らは主にいけにえをささげ、全焼のいけにえをささげた。雄羊半頭、雄羊半頭、子羊半頭、これらに添える注ぎのぶどう酒、それに全イスラエルのためのおびたしいいけにえをささげた。(29:20~21)

3か

1. ダビデは契約の箱に対する情念を持っていました

- 1) 契約の箱がイスラエルに戻ってきました (I 歴代13:1~14)
- 2) エルサレムに契約の箱が安置されました (I 歴代15:1~24)
- 3) 神様の神殿を建てられなかったダビデの悩みを預言者ナタンに告白しました (I 歴代17:1~1)
- 4) 神様が与えられた祝福に対してダビデは感謝の祈りをささげます (I 歴代17:16~27)

2. ダビデはいつも戦争で勝利をおさめた英雄でした

- 1) モアブ、ツォバ、ダマスコ、エドムに勝ちました (I 歴代18:1~13)
- 2) アモンに勝ちました (I 歴代19:1~19)
- 3) ラバを破壊しました (I 歴代20:1~3)
- 4) ペリシテに勝ちました (I 歴代20:4~8)

3. ついに、ダビデは神様のみこころである神殿建築を準備しました

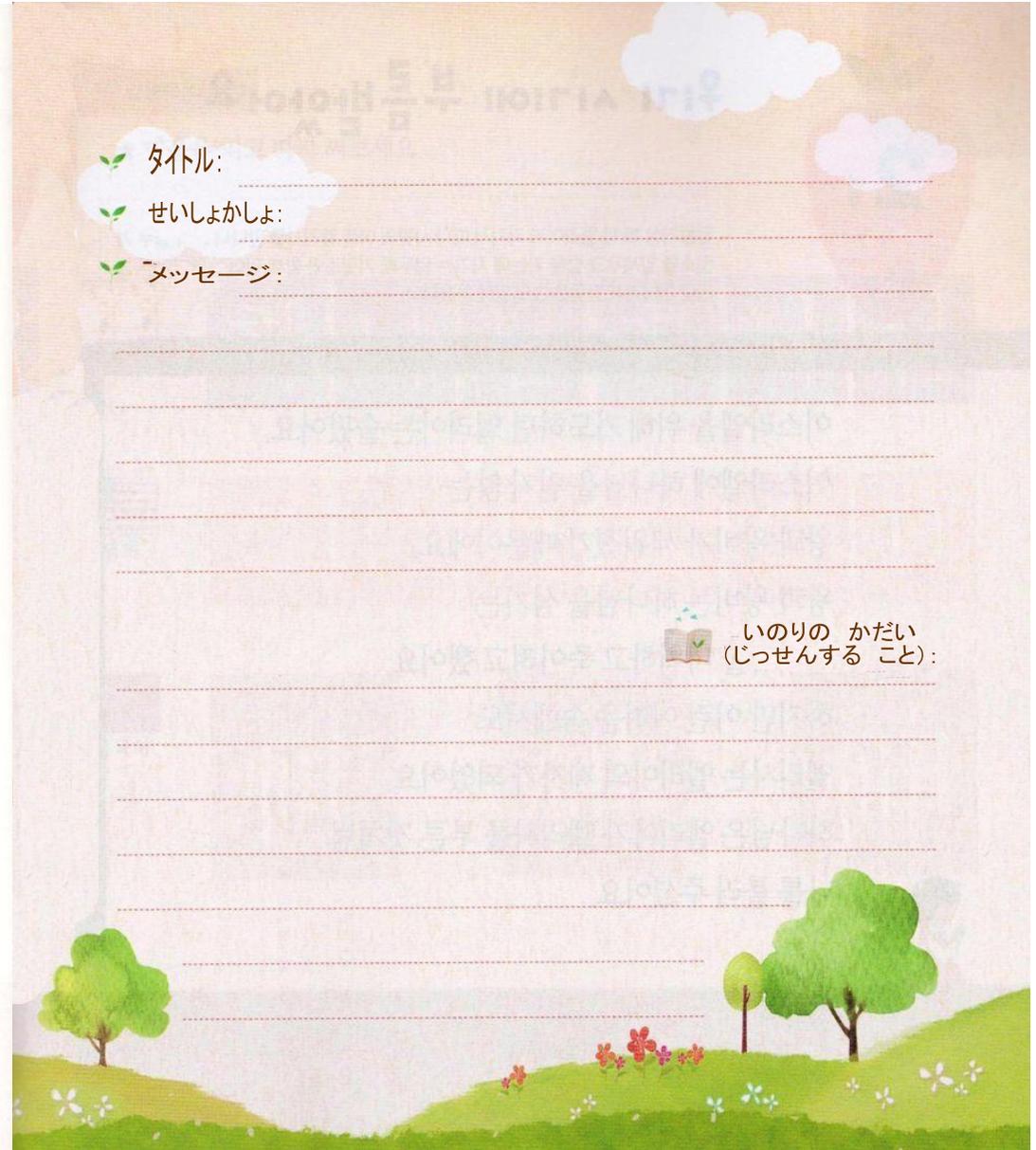
- 1) 神殿建築のためのすべての準備を終えたダビデは、ソロモンに神殿建築を委ねます (I 歴代22:1~19)
- 2) ダビデは神殿建築を控えて、全イスラエルの民の前で感謝の祈りをささげます (I 歴代29:10~14)

タイトル:

せいしよかしよ:

メッセージ:

いのりの かだい
(じっせんする こと):



かこの れきしと おうたち (ダビデの しと ソロモンおう)

4 か

たいちれきだい
I 歴代29:22~30 ダビデ王の業績は、最初から最後まで、予見者サムエルの言行録、預言者ナタンの言行録、先見者ガドの言行録にまさしく記されている。それには、彼のすべての統治、彼の方、また、彼およびイスラエル、それに各地の諸王国が過ごした時代について記されている。(29~30)

1. ダビデは^{しんでんけんちく}神殿建築のすべての^{ざいりょう}材料を^{じゅんび}準備しました (I 歴代29:1~9)
2. ダビデは^{しんでんけんちく}神殿建築を^{ひか}控えて、すべての^{たみ}民の^{まえ}前で^{かんしゃ}感謝の^{いの}祈りをささげました (I 歴代29:10~14)
3. ついにソロモンがダビデの^か代わりに^{おうぎ}王座に着きました (I 歴代29:22~28)

タイトル: _____

せいしよかしよ: _____

メッセージ: _____

いのりの かだい
(じっせんする こと): _____